第 14 期 第 2 回 豊中市廃棄物減量等推進審議会 議事録

【日 時】	令和 6 年(2024 年)11 月 27 日(水)10 時 00 分から 10 時 50 分まで
【場 所】	庄内コラボセンター ショコラ 4 階 多目的室 1
【出席委員】	小島委員 花嶋委員 石村委員 太田委員 眞先委員 三谷委員 下村委員 高島委員 榊原委員 吉田委員 和佐委員 村田委員 竹之内委員 (15 名中 13 名出席：有効に成立) ___ は、WEB 参加
【傍 聴 者】	1 名
【事 務 局】	糸井、道端、小林、永富、吉村、小坂、渡邊、西岡、田中、内田、鈴木、坂口、三島、 三浦、池田(一)、中村、小田、池田(真)
【配 付 資 料】	<ul style="list-style-type: none"> ・第 14 期第 2 回豊中市廃棄物減量等推進審議会（WEB 会議）議事次第 ・第 14 期第 2 回豊中市廃棄物減量等推進審議会タイムテーブル ・第 14 期廃棄物減量等推進審議会委員名簿 ・資料 1 令和 5 年度事業等報告書 確定版

●開会宣言

審議会は情報公開条例に基づき、公開の対象となる。本日は、1 名の方が傍聴されている。
委員 15 名の内、13 名が出席のため過半数に達しており、審議会規則第 6 条により本日の会議は有効に成立している。

1. 第 4 次豊中市ごみ減量計画の進行管理について

○会長

それでは、第 4 次豊中市ごみ減量計画の進行管理について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

<資料 1 に沿って説明>

○委員

ごみの焼却処理量の主な市民意見（抜粋）のなかで、「日常生活のなかでごみ減量の取組みを知ることができるよう工夫してほしい」との意見があるが、例えば食品ロスについて、環境省のホームページに「7 日でチャレンジ！食品ロスダイアリー」という、各家庭の食品ロスについての記録表がある。そういったツールについて URL を掲載する等して市民へ周知してはどうか。

○会長

家計簿等と同様に、ごみについてもレコーディングを行い、見える化を進めるということは、ごみの減量を進めるうえでも有効である。

○委員

ごみの処分費用について、1年で10万t近く処理している豊中市では、どれくらい処理費用がかかっているのか。また、1万t減らせたとしたら、どれくらい処理費用が削減できるのか教えていただきたい。

○事務局

少し古いデータにはなるが、環境省が実施している一般廃棄物処理事業実態調査の令和2年度の結果によると、可燃ごみだけでなく、全てのごみの処理経費として30億5千万円、市民1人あたりでは7,457円となっている。

○委員

ごみを8%減らすことを目標としているということは、処理経費も8%削減できるということか。

○事務局

平成28年度比で8%ごみを減らすことを目標としており、平成28年度の処理経費が37億5千万円、単純計算でその8%の3億円が削減できることとなる。

ごみ処理量と処理経費については、実際には正比例するものではなく、ごみの割合や外部要因等によって乖離が生じるため、あくまでも概算の数値であると認識していただきたい。

○会長

余談ではあるが、日本全国の廃棄物関連費用として2兆円程の経費がかかっており、少子高齢化で財政が厳しい状況のなか、廃棄物に関する経費を減らすことができれば、福祉等の他の行政の事業に財源を活用することができるという趣旨をもって神戸市にて社会実験を行った際には、大変多くの市民から共感を得られたため、事業に係る財政状況等もわかりやすくお伝えできれば、さらにごみ減量へのモチベーションが高まるのではないかと感じた。

○委員

事業系のごみ処理機設置補助事業について、令和6年度から処理対象物を拡充したとあるが、実際にどのような拡充がなされたのか。

○事務局

令和5年度では、生ごみを処理できる機械のみを対象としていたが、事業者へのヒアリング等を通じて、介護施設から排出されるおむつ等の処理についても課題があることがわかり、令和6年度からは、それらを処理できる機械についても補助対象として拡充したものの。

○委員

家庭系ごみ1人1日当たり量・家庭系ごみ量の市の考え方について、現在の文章では発生抑制につい

での印象が薄く感じるため、「今後も発生抑制を第一とし、それでも発生してしまうごみについてはリユース事業やリサイクルへの取組みを推進」という表現に変えてはどうか。

○会長

昨年度は全体としてごみも減ってきており、発生抑制の効果が現れているのではないかと感じるが、今後のごみ量がどのような経緯を辿るかについてはまだ不透明であり、引き続き発生抑制を推進していくことは重要であるため、先ほどのご意見にあったように、事務局のほうで少し発生抑制についての表現を変えていただきたい。

○委員

家庭系ごみ 1 人 1 日当たり量・家庭系ごみ量の市民意見で「できるだけ住民に負担をかけずに生ごみやプラスチックのリサイクルに関する施策を考えてほしい」とあり、市の考え方にて、その部分に対応する文面を加えてはどうか。

○事務局

ご指摘のあった市民意見への回答も含めて、市の考え方についての記載内容を精査し、後日会長にその内容を見ていただくようにする。

○委員

以前に新聞で高齢者の食品ロス割合が高いという記事を読んだが、市として周知・啓発だけでなく、高齢者でも使えるツール等を紹介して、発生抑制を促していくということをしてはどうか。

○事務局

お子さんのいる世帯には食品ロスに関するハンドブックの配布等を通じて家庭での食品ロスについて考えていただけるような取組みを進めているが、高齢者についても、今後福祉部と協議を進める等して、啓発からさらに一歩進んだ取組みを行えないか検討したいと思う。

○会長

私事で恐縮だが、石村委員と作成した「食品ロスダイアリー」という無料のツールもあるので、ぜひ活用していただければと思う。

2.その他（案件なし）

○会長

全般を通して、改めてご意見がなければ、本日の審議会はこれにて閉会とする。

3.閉会

以上